

情報・データ科学教育センター データサイエンス課題探求型教育プログラム
「レノファ山口ファンマーケティングプロジェクト 2024」

1. プログラムの目的と位置付け

データサイエンス課題探求型教育プログラムの一環として、レノファ山口のファンマーケティングをテーマとして、学生自らがデータサイエンスを応用することによって課題を発見し、解決する学習を行う。

2. 開講部局

情報・データ科学教育センター

3. 対象者

山口大学の学部生及び大学院生（受講要件は特になし）

4. 定員

20 人程度

5. 期間

令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月

6. プログラム内容

本プログラムは学生が自ら課題を設定し、解決する課題探求型の学習を行う。学生は、レノファ山口のファンマーケティングに関連するデータをデータサイエンスの手法によって収集、整理、分析、表現することを通じて、課題の発見や解決する能力を養う。さらに、アイディアソンを通じて、共同的に取り組む能力も養う。

7. 実施計画

別紙参照

8. 参加申し込み期限

令和 6 年 10 月 10 日（木）

9. 参加申し込み方法

以下の内容をメールにて送付してください。

①氏名、②学籍番号、③学部または研究科、④学年、⑤メールアドレス、⑥電話番号
メール送付先：gal110@yamaguchi-u.ac.jp（教育支援課教育連携係）

「レノファ山口ファンマーケティングプロジェクト 2024」実施計画

(1) プロジェクト実施期間

令和6年10月～令和7年3月

(2) プロジェクトの目的

若い世代のファンを増やすため、若い世代のニーズや価値観に合致したファンマーケティングを提案・実施する。

試合以外の楽しさやレノファ山口の魅力を知ってもらうためのファンマーケティングを提案・実施する。

新たな SNS 等の媒体を利用したファンマーケティングを提案・実施する。

ファン以外の人にアプローチするための情報発信の手法を提案・実施する。

(3) プロジェクトの具体的な実施内容

若い世代のニーズ調査を行い、データを集め、分析・検証を行い、若い世代の新たなファンを獲得する方策を考える。

SNS の活用によるファンマーケティング（ブランディング、情報発信のやり方等）について学びながら取り組む。

様々なスポーツチームの広報活動の実例を調査し、新たなファンを獲得するためのアプローチの方法を学び、考える。

(4) プロジェクトの流れ

キックオフミーティング

調査の内容や実施方法等検討

調査の実施

データの分析・検証

ファンマーケティングを検討・提案・実施

※中間報告会及び最終報告会を実施する。